

世界の中の「日本/JAPAN」

企業論・ジェンダー論・伝統文化論

今日のグローバル化された世界では、「日本/JAPAN」を国際・国内という異なるレベルで、問い直していく必要がある。一見、異なるように思える国際と国内の視点は相互に関連しており、国際化が進んでいる今日では、この相互関係はさらに深まりつつある。今年は令和に改元され、来年は2020東京オリンピック/パラリンピックも開催される。日本はますます世界的に注目されるようになるだろう。

そこで本事業では、広島市立大学国際学部にも所属する3名の国際色豊かな専門家(韓国・ドイツ・日本)により、日本の企業論・ジェンダー論・伝統文化論といった多様な視点から日本をとらえなおし、国際社会における「日本/JAPAN」について、講師それぞれの見解を提示する。

日時

11月17日(日)
13:30~15:30

会場

広島国際会議場
地下2階コスモス②

入場
無料

講師

株式会社制度の歴史と日本企業



広島市立大学国際学部教授 李 在鎬

株式会社の出現により、不特定多数から広範に、資金をあつめ、リスクを抑えながら、持続的に事業活動を営むことができるようになりました。この画期的な仕組みは日本には、明治時代に導入され、日本の資本主義と経済発展に大きく貢献してきました。このような株式会社制度の生成と世界的な普及、日本での発展過程について説明します。

アイランドレイキャビックの充電スタンドで撮影した日系電気自動車



講師による撮影

近現代の日本におけるジェンダーとセクシュアリティ



広島市立大学国際学部教授 ヴェール,ウルリケ

「選択的夫婦別姓」「マタハラ」「LGBT」—近年、ジェンダーとセクシュアリティの問題への関心が高まっています。人間の性に関わる諸現象は文化的・歴史的な要因に深く影響され、社会によってさまざまです。近・現代日本を特徴づけるジェンダー・セクシュアリティ関連の事象をいくつか取り上げ、国境を横断する視点から考察します。



楽道物語

Wikipediaより

令和改元と大嘗祭



広島市立大学国際学部准教授 山口 えり

今年5月、新天皇が即位し、年号が令和になりました。秋には即位儀礼である大嘗祭が行われます。年号の制定も大嘗祭も、7世紀より日本では行われており、ともに日本古来の伝統です。現代にまで続く、これら二つの伝統文化には、「世界の中の日本」のある特色が表れています。その特色についてわかりやすく紹介します。



大嘗会御神繪絵図：國學院大學博物館所蔵

【事業についてのお問い合わせ先】

公益財団法人広島平和文化センター国際交流・協力課
〒730-0811 広島市中区中島町1-5 (広島国際会議場3階)
TEL 082-242-8879 FAX 082-242-7452
URL <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/ircd>
E-mail internat@pcf.city.hiroshima.jp

【講座についてのお問い合わせ先】

公立大学法人広島市立大学 社会連携センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4-1
TEL 082-830-1764 FAX 082-830-1555
URL <http://www.hiroshima-cu.ac.jp>
E-mail office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University